



こども未来フェスティバル ～ストップ少子化 for future children～



理想の未来創造
委員長
手塚 将之

6月28日(日)こども未来フェスティバル～ストップ少子化 for future children～を開催させて頂きました。この事業は、少子化問題が今そこにある危機であることを認識して頂くと共に、豊岡市の象徴であるコウノトリを少子化対策のシンボルマークとすることで、少子化

問題に対する意識の啓発を目的として開催致しました。

第一部こども未来創造フォーラム(豊岡地区公民館)では、「少子化という危機～行政・企業・市民協働による持続可能な社会に向けて～」をテーマに、内閣府子ども・子育て本部少子化対策担当参事官補佐の吉田真晃氏をお招きし、国政の最重要課題とされる少子化問題の要因や弊害、対策などについてのご講演を頂きました。そ

の後、吉田真晃氏に加え、中貝市長、NPO法人スマイルプラス理事長の佐伯和亜氏、子育てほっとステーションTREEはうす代表の旗谷典子氏、吉尾理事長の5名により意見交換会を行い、豊岡市における少子化問題の現状や少子化対策の取り組み、課題などをお話頂くことで、少子化問題に対する認識を共有し、其々の役割についての理解を深める機会になったと考えます。

第二部こども未来フェスティバル(豊岡市立市民体育館)では、親子や家族の方々に楽しんで頂く中で、少子化問題に対する取り組みの重要性を示し、市民の皆様に応募頂いたデザインの中から選出した少子化対策シンボルマークを発表することで、多くの方々に少子化問題に対する意識の啓発を行うことが出来たと考えます。本事業を通して来場者の皆様感じて頂いた思いが、愛するふるさと豊岡を「今を生きる、未来を生きる子どもたちへとつなぐ」確かな一歩になることを願います。結びに、事業開催にあたり多くの皆様に多大なるご支援・ご協力を頂きましたことを心より厚く御礼申し上げます。

6月28日(日)

こども未来フェスティバル ～ストップ少子化 for future children～

於：豊岡市立市民体育館 他



巨大迷路



親子ふれあい遊び



レゴ体験



シンボルマークの発表



選出した少子化対策シンボルマーク
(豊岡市へ寄贈)



吉田氏の講演の様子

こども未来創造フェス
一般社団法人豊岡青年会議所 後援：豊岡市 但馬



会場の皆さんと記念写真

まず始めに、こども未来フェスティバル～ストップ少子化 for future children～が皆様のお陰をもちまして無事終わることができましたこと感謝申し上げます。

思い返せば事業当日に至るまで様々な苦勞、苦悩がありました。自分の中で副委員長という立場の整理がつかず、委員会メンバー、LOMメンバーを巻き込み盛り上げることの必要性を感じていながら実行ができず、自らの首を絞め、また委員長に負担を掛けてしまい申し訳ないという想いで日々苦しみました。元々、他人を巻き込み、仕事を振ることが苦手であり、自分でこなしてしまう性分なのですが、JC活動においては苦手分野を振られることも多々あり、一人でこなすことの限界を感じていました。

事業を目前に控えたある日、恥を忍んで委員会メンバー、同期に助けを求めました。それからの日々は協力してくれた全てのメンバーの個々の能力の高さ、ありがたさを改めて実感しました。この度の経験で得られた反省点は真摯に受止め、また、感謝の気持ちを忘れずに今後の活動に活かし、邁進して参ります。

(理想の未来創造委員会副委員長 坂本 高洋)

6月第1例会

於：じばさんTAJIMA5F豊岡靴協会ホール

6月第1例会は、JCIアスパック マレーシア コタキナバル大会に参加するため、日時を変更して行いました。講演会の講師に西村和彦先輩をお呼びし、「長期的な成長戦略～今すべきことを見極める！～」というテーマでご講演頂きました。税理士の視点から、今、我々のおかれている厳しい経済状況を踏まえて長期的な成長戦略を考えるのに、何のために事業をなすのかという「自己理念」や「企業理念」を明確にする必要があるというお話がありました。そのためには本を読んで知識や情報を得たり、人との出会いを大切にしたりといった自己研鑽を惜しまずに目標に向かって頑張っていかなければなりません。西村先輩自身のJCIでのご経験を絡めてご講演頂いたことで、メンバーも馴染みやすく、楽しく学ぶことができました。

また、選考委員会選挙では、小林博文選挙管理委員長の下、スムーズかつ公正に執り行って頂きました。

(総務委員長 細川 太郎)



西村先輩の講演



小林選挙管理委員長

6月第2例会 交流会「明るい未来への扉」～新たな一步が未来を照らす～

於：じばさんTAJIMA5F豊岡靴協会ホール



会員拡大
特別委員長
中島 丈裕

本年度の会員拡大活動も、終盤を迎えようとしている中、一人でも多くの仲間を増やすために、メンバー一人ひとりが誠意を持って候補者に接し、情熱を持って青年会議所活動で学び得た魅力を伝える為にも、入会候補者が一堂に会する場を設け、本気で交流する事が大切であるという考えのもと事業構築を行いました。

会員拡大特別委員会のメンバーは副理事長と、各委員会の委員長で構成されており、大変忙しい中にも関わらず、

各メンバーが当事者意識を持ち事業に向かって参りました。今現在の候補者の方々の心境はどのような状態なのか、何をどの様に伝えると不安要素を取り除けるのか、そして、お越し頂いた皆様に来てよかったと感じて頂けるのか等、多くを議論し事業に向かいました。

事業当日は、入会候補者の皆様とのつながりを深めて頂く事はもちろん、なぜ入会し、青年会議所活動を続けているのかを伝えることができた事で、現状維持に留まることなく、新たな一步を踏み出して頂くきっかけとなったのではないかと考えます。今後一人でも多くの仲間を増やせるよう、ご協力お願い申し上げます。

最後になりましたが、事業を開催するにあたり、ご協力・ご出席頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



異業種交流会の様子



異業種交流会の様子

6月11日(木)～14日(日)

J C I アスパック マレーシア コタキナバル大会

於：マレーシア コタキナバル

本年度行われた J C I アスパック マレーシア コタキナバル大会に吉尾理事長をはじめとする 5 名で参加致しました。マレーシアは一年を通じて高温多湿の気候ですが、主要会議場所となったスートラハーバーリゾートでは、移動時の服装のままでも快適に過ごすことができる素晴らしい環境でした。そして、参加メンバーでジャパンナイトへ赴くなどの交流により、J C I という世界規模の組織を体感することができ、国際的な J C 活動の意識を高める貴重な機会となりました。また、日本 J C の J C I 関係委員会副委員長の大任を務める浜田裕一郎君と現地で合流することができ、その活動の苦労話を含めた生の声を聞くことで、必ずやその経験を L O M に持ち帰り、存分に発揮してくれるという大きな期待を感じさせていただきました。

今後国際交流の機会には、より多くのメンバーに参加をしていただきたいと強く思います。

(国際関係委員長 池内 資倫)



現地にて浜田君と歓談

6月29日(月)

兵庫県知事との懇談会

於：兵庫県公館

兵庫ブロック協議会日本 J C 連携推進会議ホストの下、兵庫県公館にて兵庫県知事との懇談会が開催されました。本年度は、防災・まちづくり・青少年とテーマを 3 つに絞り意見交換をしました。意見交換の場では豊岡 J C が先般行ったばかりの、こども未来フェスティバル～ストップ少子化 for future children～を事例に挙げさせて頂きました。テーマを絞ったことで、漫然とした議論にならず、有意義な機会となりました。

(専務理事 三輪 直亮)



井戸知事と歓談

■ 事業案内 ■

■ 編集後記 ■

■ サマーコンファレンス

日 時 2015年7月18日(土)～19日(日)

場 所 パシフィコ横浜 他

■ 7月第2例会

勉強会 「最高のブロック大会のかたち」

日 時 2015年7月24日(金)19:30～21:00

場 所 豊岡水道会館2階大会議室

ホスト 55周年準備特別委員会

■ 8月第1例会

日 時 2015年8月12日(水)18:30～20:30

場 所 但馬空港ターミナルビル多目的ホール

■ 臨時総会

日 時 2015年8月12日(水)20:30～

場 所 但馬空港ターミナルビル多目的ホール

7月というと、7月7日の七夕があり、日本の暦の五節句の一つでもあります。

- ①人日(じんじつ)1月7日 七草の節句
- ②上巳(じょうし)3月3日 桃の節句
- ③端午(たんご)5月5日 菖蒲の節句
- ④七夕(しちせき)7月7日 七夕(たなばた)
- ⑤重陽(ちょうよう)9月9日 菊の節句

七夕の織女と牽牛の伝説は『文選』の中の漢の時代に編纂された「古詩十九首」に初めて出てきます。七月七日の夜、織姫が天の川を渡って、彦星の所へ会いに行くように、J C では、7月は次年度の動きが出てきて、本格的に始動する8月に向けて本年度の活動と出会う時期です。8月以降、二足の草鞋をしっかりと履けるためにも7月も気概と覚悟をもって活動に邁進していきたいです。

(総務委員会)

発行日：平成 27 年 7 月 10 日

発行所：一般社団法人豊岡青年会議所

住所：豊岡市幸町 6 番 35 号

編集発行人：総務委員会

TEL：0796-22-4041

印刷：総務委員会